

＜ 芸 術 ＞ 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	器 楽	学 年 ・ 類 型	2 年 生 カルチャーコース スポーツコース	単 位 数	2 単 位	教 科 書	な し
学習の到達目標		器楽の諸活動を通して、楽器の演奏に関する知識や技術を身に付ける。 楽器の演奏を通して、読譜能力の向上を図る。 楽器の音色の特徴や演奏者による表現の違いに気付き、味わって鑑賞することができる。					
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 音楽表現の創意工夫	C 音楽表現の技能	D 鑑賞の能力			
評価の内容	楽器の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する活動に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、様々な形態による器楽の特徴を生かした音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、創造的に表現している。	作曲者や演奏者による表現の特徴や楽器の音色の特徴を自分の演奏と比較しながら味わって聴いている。			
評価の方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・ワークシート	・学習活動での表現内容 ・実技テスト	・学習活動での表現内容 ・実技テスト	・ワークシート			
学 期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容	評 価 の 観 点			
				A	B	C	D
1 学 期	4	キーボードを演奏しよう	キーボードの基礎的な演奏方法を習得する。 技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を工夫して、独奏やアンサンブル活動の楽しさを味わう。				
	5			○	○	○	○
	6						
	7	1学期の器楽学習のまとめ	1学期のまとめとして発表会を行い、学習内容の定着度を確認するとともに、これまでの学習を振り返って、課題を確認し、2学期以降の取り組みを考える。	○	○	○	○
2 学 期	8・9	器楽アンサンブルに親しもう	アンサンブルの活動の特色を生かし、豊かな響きのある音楽を作り上げる楽しさを味わう。				
	10			○	○	○	○
	11	ヴァイオリンを演奏しよう	ヴァイオリンの基礎的な演奏方法を習得する。 技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を工夫して、独奏やアンサンブル活動の楽しさを味わう。				
	12			○	○	○	○
3 学 期	1						
	2	グループによるアンサンブルコンサートしよう	1年間のまとめとしてコンサートを企画し、それぞれのグループが選択した表現方法で創意工夫を生かした表現活動を行い、音楽の喜びや楽しさを味わう。				
	3			○	○	○	○
学習のポイント		楽器の構え方や音階などの基礎を大切にし、慣れるまで繰り返し練習する。 アンサンブルではテンポを合わせる事が重要なので、よく聴き合い、慣れるまで繰り返し練習する。 人前で発表することに慣れ、自分なりの表現ができるよう工夫する。					